

第19回コスモホール佐久第九演奏会 2019/12/1 (日)

佐久平浅間小学校体育館で「明日への願いを込めて！」

第19回コスモホール佐久第九演奏会は、台風19号によりコスモホールが被災し長期休館を余儀なくされたため、会場を佐久市立佐久平浅間小学校体育館に移して開催します。会場としてはベストではありませんが、台風惨禍、『このような時にこそ、勇気と希望の「第九」を！』と関係機関のご理解とご協力を得て開催するものです。

前プログラムは、オペラ「トゥーランドット」の「誰も寝てはならぬ」など4曲をラインアップ。いずれも普段、生で聴く機会が少ないオペラの名曲たちです。この機会にお楽しみください。

指揮者は一昨年、昨年に引き続いて3回目の石毛保彦先生です。ソリストは昨年と同じ内外で活躍中の県内出身の方々です。オーケストラ、合唱団の実力を熟知された石毛先生が、人間でいえば成人を目前にした「佐久第九」をどのように紡ぎ出されるかご期待ください。

「苦悩を突き抜け歓喜に至れ！」と人間賛歌を歌い上げたベートーヴェン。「明日への願いを込めて！」高らかに響かせます。

指揮者 石毛 保彦 (いしげ やすひこ)

信州大学医学部卒業。医師として10数年働いたのち、指揮者になる夢を棄てきれず、桐朋学園大学音楽学部に入学。指揮を黒岩英臣、秋山和慶、湯浅勇治、飯守泰次郎、高階正光、バイオリンを徳永二男、大谷康子、山岡耕作、兎束龍夫の各氏に師事する。

桐朋学園大学卒業後、桐朋学園オーケストラアカデミー(指揮専攻)においてさらに研鑽を積む。在学中、学内オーディションにおいて最優秀の成績で選ばれて桐朋学園オーケストラを指揮、またチョン・ミュンフン氏指揮、桐朋学園オーケストラによる歌劇「カルメン」の副指揮者を務める。さらに韓国仁川で開かれた国際指揮ワークショップに参加、チョン・ミュンフン氏のマスターコースで薫陶を受ける。2006年アフィニス音楽祭に指揮研究員として参加。

現在、全国各地のオーケストラの指揮者として活躍している。



佐久室内オーケストラ

佐久地域を中心に活動しているオーケストラ。1993年に創立以来、毎年10月にコスモホールにて定期演奏会を行っている。永年にわたり原博道先生の指導を受け、東信地域を代表するアマチュアオーケストラとして成長、現在は寺島克彦先生が指導・指揮にあたっている。

現在団員は55名、職業・年齢も様々なアマチュアプレーヤーが集まり、演奏することを何よりの楽しみとして、週1回の練習に励んでいる。

クラシック音楽を生るオーケストラで聴く素晴らしさをより多くの皆様に体験していただくことにより、その感動を共に味わいながら、地域の音楽文化向上に寄与すべく活動しています。

※今年10月14日に予定されていた第25回定期演奏会は、台風19号の影響によりコスモホールが休館となってしまったため、来年(2020年)4月29日に小諸市文化会館において開催いたします。

コスモホール佐久第九合唱団

5月からの団員募集に応じて、佐久地域を中心に各地から「第九を歌いたい」とする方々が参加し、7月26日の発会式をもって合唱団がスタートしました。

団員は高校生から現役社会人、主婦、リタイア組など様々。年齢は10代から80代まで幅広い年齢層にわたっており、第九はもちろん合唱も初めてという方から連続19回のベテランまで音楽経験も様々です。今年も大勢の初参加者をお迎えしましたが、現役高校生が親子で参加したり、練習には子供同伴のママさんの参加など新しい参加の動きも出ています。このように「第九」によって結ばれた多彩なメンバーが、本番での「歓喜、感動!!」を目指して毎週金曜日コスモホールを中心に練習に励んできました。

初参加者からベテランまで、最高のステージをお届けできるよう努力を重ね今日を迎えています。



ソプラノ 柳澤 萌 (やなぎざわ もえ)



東御市出身。小諸高校音楽科卒業。新潟大学教育人間科学部芸術環境創造課程音楽表現コース卒業。(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部33期修了。2013年イタリアのOrvietoにて研修。2014年長野県伊那文化会館、信州国際音楽村にてオペラ《コジ・ファン・トゥッテ》フィオルディリージ役で出演。新国立劇場オペラシアターで行われた文化庁委託事業のコンサートでは、マリエッラ・デヴィアー氏の推薦を受けて出演。2017年上田シテオペラ協会《カルメン》ミカエラ役で出演。「第九」でソリストを務める。現在東京、長野各地でコンサートを開催、音楽鑑賞会のソリストとして参加。藤原歌劇団団員。

アルト 前島 眞奈美 (まえじま まなみ)



小諸市出身。小諸高校音楽科を経て東京藝術大学を卒業。在学時に東京藝術大学バハカンタータクラブに所属。藝大オペラ第61回定期公演「フィガロの結婚」にて花娘役、「ヘンゼルとグレーテル」にて魔女役、2019年5月に行われたSalicus Kammerchor第5回定期演奏会J.S.バハのモテット全曲演奏会に出演。ヘンデル「メサイア」、J.S.バハ「口短調ミサ」、その他多数のカンタータ、W.A.モーツァルト「戴冠ミサ」「レクイエム」、L.V.ベートーベン「第九」等のアルトソリストを務める。声楽を牧野真由美、中島郁子、多田羅迪夫の各氏に師事。Salicus Kammerchorメンバー。東京混声合唱団レジデントメンバー。

テノール 井出 司 (いで つかさ)



佐久市出身。昭和音楽大学卒業。同大学院修了。高橋喜久子、的場辰朗、F.C.オーバ、E.ドゥンデコーヴァの各氏に師事。立石信雄奨学金、下八川圭祐基金を得てイタリアに留学。日本クラシックコンクール最高位、イタリア声楽コンクール入選、イタリア・ベネチア国際音楽コンクール第3位など多数受賞。「ピア・デ・トロメー」ギョー役でオペラデビュー。「ファルスタッフ」「愛の妙薬」「椿姫」「リゴレット」「オベルト」など様々なオペラの主要キャストで出演。藤原歌劇団では、「ランメルモールのルチア」アルトゥーロ役、「椿姫」ガストン役、「ランスへの旅」ゼフィリーノ役、「スサノオと美琴」アメノタジカラオノカミ役で出演。オラトリオでは「第九」「メサイア」にソリストとして出演。佐久演奏家協会会員、フォルテサロンメンバー、藤原歌劇団団員。

バリトン 藪内 俊弥 (やぶうち としや)



長野県出身。東京藝術大学卒業。同大学院修了。第12回日仏声楽コンクール、第23回奏楽堂日本歌曲コンクール共に第2位入賞。《藝大メサイア》でデビュー以降、様々なコンサートでソロを務める。オペラでは、新国立劇場ツイン・マーマン『軍人たち』出演をはじめ、『フィガロの結婚』伯爵、『ラ・ボエーム』マルチェッロ、『カルメン』エスカミリーヨ等幅広く演じている。2011年ルーニーマン国立コンスタンツァ歌劇場『ランメルモールのルチア』のエンリーコで欧州デビューを果し、同年中国西安人民劇院、北京人民劇院にて『ドン・ジョヴァンニ』の題名役を演じ好評を博す。18年、P.コンヴィチニ演出『魔弾の射手』オットカル伯爵で二期会デビューを飾り、19年にはフランスの巨匠M.ブラッソン指揮同『エロディアド』でヴィテリウスを演じている。二期会会員。

ご来場いただくにあたって～お願い～

- 1 臨時駐車場は左の位置図の3か所合計210台程度です。駐車場が手狭のため、乗り合わせでのご来場、公共交通機関のご利用にご協力ください。
- 2 コスモホール駐車場—佐久平浅間小学校間の送迎用バスをご用意します。チケットと一緒に運行予定をお渡ししますのでご利用ください。
- 3 体育館は土足厳禁ですので、上履き又はスリッパをご持参ください。
- 4 体育館は遠赤外線暖房となっていますが、暖かい支度でお越しください。
- 5 佐久平浅間小学校の敷地内、全館禁煙です。ご協力ください。